

令和9年度九州大学大学院システム生命科学府 修士課程学生入学試験（併願）実施要領

※本入試の出願は、インターネット出願により行います。インターネット出願の方法等については、九州大学システム生命科学府ウェブサイトに掲載しています。
https://www.sls.kyushu-u.ac.jp/examinee/entrance_exam/

1. 専攻及び募集人員

専攻	募集人員	専門分野
システム生命科学	若干名	生命情報科学 生命工学

2. 併願を実施している学府及び課程

九州大学大学院工学府修士課程
九州大学大学院システム情報科学府修士課程
九州大学大学院数理学府修士課程
九州大学大学院生物資源環境科学府修士課程

※本学府の併願受験を志望される場合は、併願を申請した学府の入学試験を必ず受験してください。（併願元の入学試験を受験しなかった場合、本学府を受験することはできません。）併願の申請方法、出願期間、受験資格等については、各大学院の募集要項をご確認願います。

3. 選抜方法

- 選抜は提出書類及び学力検査の結果により総合的な審査を行う。
- 学力検査は口述試験により行う。
英語については、受験者のTOEIC Listening & Reading Test 又はTOEFL-iBTの成績をもとに採点する。

4. 学力検査科目

専門分野	試験科目	試験日時
生命情報科学	口述試験	9月28日(月) 13時30分～
生命工学	英語 受験者のTOEIC Listening & Reading Test 又はTOEFL-iBT 成績をもとに採点する	—

※詳細については、願書受付後にインターネット出願システムを通じて通知する。

5. 出願手続

(1) 出願方法

- ① 出願手続は、インターネット出願システムへの入力により行います。出願期間が近くなったら、本学府ウェブサイトリンクを掲載する。
https://www.sls.kyushu-u.ac.jp/examinee/entrance_exam/
- ② インターネット出願システムへの入力期間は、**令和8年8月19日(水)午前10時から、8月25日(火)午後5時まで**とする。
この期間までに、出願完了のボタンを押し、出願を完了させること。出願完了のボタンを押さないと、出願が完了したことにならない。
また、出願完了のボタンを押す前に上記入力期間が過ぎた場合でも、出願は受け付けられないので、注意すること。
- ③ 出願書類等に不備のあるものは受理しない。
- ④ 出願後は、出願の取下げ及び出願書類等の記載事項の変更を認めない。また、出願書類等及び入学検定料は、返還しない。
- ⑤ 願書受付締切り後の出願資格確認を経て、出願を受理した場合は、インターネット出願システムにより受験票を表示する。受験票の表示開始は登録したメールアドレスあて通知する。なお、受験にあたり必要な情報は登録したメールアドレス宛てに通知するので、出願時には確実に届くメールアドレスを正確に入力するとともに、出願後はメールをよく確認すること。
- ⑥ 受験票は、インターネット出願システムからダウンロードし、受験当日までに印刷し、必ず持参すること。

※TOEIC Listening & Reading Test・TOEFL-iBTに関する注意事項

1. TOEIC Listening & Reading Test・TOEFL-iBTは、公式認定証が発行される正式な試験を受験すること。
(TOEIC IP, TOEFL-iBT ITP, TOEIC Speaking and Writing のスコアは認められない。)
2. 成績証明書は、受験者が自分に最も有利と考えるものを1部提出すること。
3. 令和6年9月以降に受験したTOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績証明書を提出すること。
4. 試験当日に成績証明書の原本を持参すること。願書と共に提出した成績証明書と異なる成績証明書の原本を持参した場合は、試験当日に提出した成績証明書をもとに採点する。より成績の良い証明書があれば、最初に提出したものと別の成績証明書を持参することも可能。
5. 成績証明書を出願時に提出していない者が、試験当日に成績証明書の原本を持参しなかった場合及び指定している試験以外の成績証明書を持参した場合は、筆記試験、口述試験の受験を認めず、不合格とする。
6. TOEIC については、デジタル公式認定証についても成績証明書(原本)として認め、有効とする。

(2) 提出書類

アップロードする書類は、明瞭なものとしてください。

	提出書類	留意事項
1	入学願書	インターネット出願システムに必要な事項を入力してください。
2	TOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績証	TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL-iBT の公式の成績証明書であること。 (TOEIC IP, TOEFL ITP, TOEIC Speaking and Writing のスコア)

	明書	<p>は認められない。)</p> <p>令和6年9月以降に受験した TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL-iBT の成績証明書を PDF にして、インターネット出願システムへアップロードしてください。</p> <p>願書提出時に成績証明書が間に合わない場合は、成績証明書の原本を受験時に持参すること。</p>
--	----	---

6. 出願システムへの入力期間

令和8年8月19日（水）午前10時から ～ 令和8年8月25日（火）午後5時まで

7. 合格発表

令和8年10月14日（水）10時に、九州大学伊都キャンパスウエスト1号館C棟2階のメインエントランスに掲示するとともに、合格者には本人宛に出願システム上で通知する。また、大学院システム生命科学府のホームページ (<https://www.sls.kyushu-u.ac.jp>) にも合格者の受験番号を掲載する。(期間は2週間程度。) なお、電話による問い合わせには一切応じない。

8. 入学予定日

令和9年4月1日

9. 入学料及び授業料

入学料： 282,000円（予定）

授業料： 267,900円 [年額535,800円]（予定）

※上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されるので留意すること。

10. 注意事項

- (1) 出願前に研究指導を希望する本学府教員に研究内容等につき確認すること。
また、併願による受験を行う場合は、研究指導を希望する本学府教員にその旨を連絡すること。
- (2) 本学府の併願受験を志望される場合は、併願を申請した学府（工学府，システム情報科学府，数理学府，生物資源環境科学府）の入学試験を必ず受験すること。
（併願を申請した学府を受験しなかった場合，本学府は受験でない。）
- (3) 出願元の学府の受験結果によっては、本学府を併願できない場合があるので、各学府の募集要項を十分確認すること。
- (4) 本学府における研究分野の詳細については、実施要領末尾別表及び大学院システム生命科学府ホームページに記載している。(<https://www.sls.kyushu-u.ac.jp/>)
- (5) 本学府では、入学時に希望した指導教員を変更することは認められないため、受験する際には、志望する「教育グループ」及び「指導教員」を熟考の上、決定すること。
- (6) 受験番号等の試験の詳細については、試験当日までにインターネット出願システムでお知らせする。
試験当日は、13時15分までに受付を行うこと。(受付場所については、後日通知する。)

なお、口述試験は13時30分より開始する。順に面接会場に案内するので、受験者は控室にて待機しておくこと。口述試験終了後は、すみやかに退場すること。

- (7) 本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を受け付けている。
受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもあるので、出願前のできるだけ早い時期に理学部等教務課学生支援係まで、連絡すること。
- (8) 出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合、または試験において不正行為があったことを示す明確な証拠が認められた場合は、合格後ならびに入学後においても遡って合格、及び入学を取り消すことがある。

11. 提出書類における個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

1. 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。
2. 成績証明書を、1年次における授業料免除等の就学支援業務で利用します。
3. 出願書類に記載の個人情報を、個人が特定できないかたちで、本学における入学者選抜に関する統計調査・研究に利用します。

出願書類に記載の個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」その他関連法令により認められる場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

【問合せ先】

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744
(ウエスト1号館A棟3階 305号室)

九州大学理学部等教務課学生支援係

電話 (092) 802-4014

Fax (092) 802-4016

E-mail: rixgksien@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学大学院システム生命科学府の学生受入方針について

(アドミッション・ポリシー)

【求める大学院生像】

生命関連科学は日進月歩の学問分野であり、基礎研究から広範な社会課題解決まで極めて広い領域をカバーして、健康かつ持続可能な社会構築に最も重要な学問領域である。大学院システム生命科学府システム生命科学専攻では、生命関連科学の分野で活躍できる高度専門人材を目指す大学院生として、

- (1) 生命を包括的に理解し社会の多様な要請に応えうる学際性を有する高度専門人材として、新しい研究開発やその実現を先導的、かつ柔軟に取り組める研究者・技術者となることを目指す姿勢
- (2) グローバルな場面で活躍できる語学力やコミュニケーション能力
- (3) 領域の垣根を越え、他者と協力しながら課題解決に立ち向かう強い意思
- (4) ライフサイエンスを支え、発展させる3つの要素（CMM：生命現象解明への好奇心と探究心、最新計測・解析技術が可能とする生命科学への新展開、健康・医療・バイオなど社会ニーズへの対応・貢献）のそれぞれに積極的に関与し、融合し、相乗効果を発揮できる基礎知識と態度を有する学生を積極的に評価し、受け入れる。

【入学者選抜との関係】

入学選抜にあたっては、成績証明書や国際的に認知された英語試験の成績証明書等の提出書類に加え、専門試験、口頭試験を課し、(1)～(4)の資質を見る。

九州大学大学院システム生命科学府概要

○修士課程の概要と教育の目的について

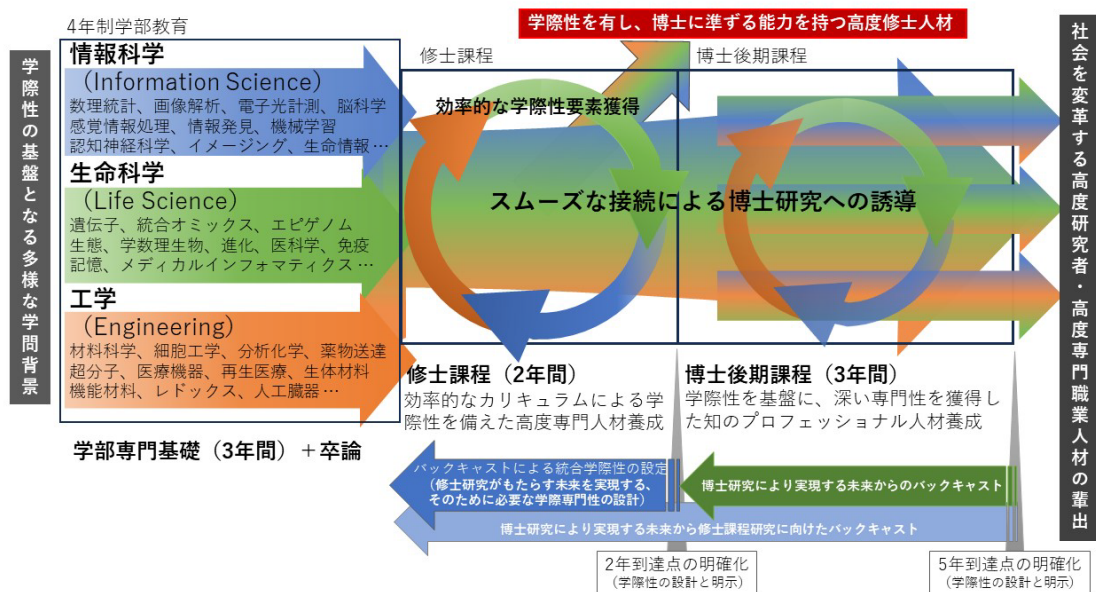
高度な科学技術の一般化に伴い、社会が要請する知のプロフェッショナル人材は多様な学際性と深い専門性を同時に備えることが求められ、現代の新規の産業や研究分野の創出のためには、専門性の深化と学際性の拡大を自ら意図して実行できる人材でなければならない。そのため、これまでの実績を活かしながら、異なる多様な分野の研究者が参画する大学院システム生命科学府の特徴を生かして、高度な学際性を効率的に獲得できるカリキュラムを設計し、生命科学を基軸に、それと一体となる種々のテクノロジーと情報科学を身につけ、多様な領域で活躍できる柔軟性を備えた広範な学際性を有する新たな高度専門人材育成システムを構築する。

具体的には、修士課程修了時の到達目標を引き上げ、修士論文研究では博士論文研究を強く意識したバックキャストに基づく研究テーマを設定し、目標達成に必要な学際性を効率よく修得させるカリキュラムデザインを行い、広範な学際性と高い専門能力を獲得させることで博士に準ずる力を持った高度修士人材を育成する。育成する高度修士人材は、博士段階にスムーズに接続させ、博士人材の質と数を確保する博士後期課程を、修士課程の完成年度以降に設置する（博士後期課程の設置は令和10年4月を予定）。

- ・ **多様性を活かす教育・研究環境の構築**：学際教育の実施を可能とする異分野研究者の参画により、異分野交流を活発化し、新たな科学領域と価値を生み出す力（価値創造力）を育成する。このような多様性を受け入れ、活用する力（インクルージョン力）を獲得し、将来に渡り持続的に成長でき、社会で活躍できる基盤を形成する。
- ・ **広範な学際性と高い専門性の自律的な獲得**：博士論文の研究課題と目標を早期に設定し、博士論文の研究目標からバックキャストした修士論文研究計画に基づき必要な学際性要素を選択し、学部専門性を拡張する学際性を自らデザインすることで、要素が有機的に接続し、汎用的能力の基盤となる高度な学際性を備えた専門能力を獲得する企画力・実行力を養う。また、研究目標の達成に必要な学際性と高度な専門性を獲得し、課題解決能力とプロジェクト遂行力を

培う。

- ・ **スムーズな博士研究への接続と博士後期課程進学者の増加** : 修士課程入学後の早期に研究課題を発見し、博士論文研究をも構想させることで自らの研究到達点を設定する。その後、目標地点からのバックキャストによって修士論文研究計画を更新することで、博士に準ずる力を獲得させ、博士後期課程にスムーズに接続し、博士進学を促すことで、関連分野の博士後期課程進学に加え、将来の博士後期課程設置を見据え博士後期課程進学者を増加させる。



以上の「生命を包括的に理解し社会の多様な要請に応えうる生命科学者の育成」の理念に基づき、本学府は次の教育目的を掲げる。

- ・ 従来の生物学や医学の枠を越え、種々のテクノロジーやデータサイエンスなどの学問の多様性を有効に活用しつつ生命を包括的に理解でき、新しい知を追求できる人材、及び生命を正確に理解したうえで、健康、エネルギー、食糧問題など多岐にわたる社会課題を解決していける人材を育成する。
- ・ 生命科学関連における広い視野と分野横断型の素養を有する高度技術者を必要とする社会的要請に対応し、学際性の基軸となる生命科学を俯瞰的に理解しつつ、必要となる情報科学や工学などの異分野技術を駆使して、今後の種々の社会課題に独自の視点でアプローチできる研究を自主的に遂行できる高度専門人材を養成する。また、現実社会の課題の解決に、多様な分野の関わる人々との連携を構築しつつ自らの課題解決に取り組むことのできる実践力を併せて育成する。

こうした教育目的の下に、以下の能力を身につけた者に対し、九州大学学位規則に基づき、修士の学位を授与する。

- ・ バックキャストによって課題を見出し、到達点を設定する力
- ・ 課題の解決に必要な学際性と専門性
- ・ 課題の解決に必要な手段を的確に導出・実行し、課題を解決する力

○人材の育成について

大学院システム生命科学府システム生命科学専攻は、高い倫理観の確立、生命科学関連分野に関する基本的な学び、専門性や学際的な多様性の涵養、研究活動の活性化による高度な学術的専門性の基盤獲得等を通して、広範な学際性と高い専門能力を修得できるカリキュラムを編成する。

このようなカリキュラム・ポリシーに基づき、ディプロマ・ポリシーを達成するため、生命の包括的理解と知の創造、得られる成果の社会還元という広範にわたる生命関連科学の在り方に関し、従来の医学、薬学、理学、農学、工学、情報科学という枠組みの中に混在していた内容を、互いに関連する4つの領域（生命情報科学、生命工学、生命医科学、生物科学）として捉え直し、それぞれの対象領域をカバーするカリキュラムの基礎的な単位となる4つの「コース」（生命情報科学コース、生命工

学コース、生命医科学コース、生物科学コース)を設定し、学生はいずれかのコースを選択する。

カリキュラム・マップでは、この4つの「コース」におけるカリキュラムの共通形を表している。また、コースごとに次のとおり掲げる学問分野を中心として学際導入科目、学際専攻科目を提供し、コース内の専門性深化とコース間の異分野交流と学際性の拡張に基づいた修士論文研究を行う。

- ・生命情報科学コース：生命情報計測、情報科学、脳情報科学
- ・生命工学コース：細胞工学、医用工学、機能材料
- ・生命医科学コース：分子細胞医科学、情報医科学
- ・生物科学コース：分子細胞生物学、生命制御生物学、多様性生物学

到達目標	科目区分 (必要単位数)	修士1年 第1Q	修士1年 第2Q	修士1年 第3Q	修士1年 第4Q	修士2年 第1Q	修士2年 第2Q	修士2年 第3Q	修士2年 第4Q
生命科学研究に関係する研究倫理を身につけ、適切な手法や考え方をを用いて研究活動を行えるようになる。	必修基礎科目 (1単位)	「生命倫理学」							
生命工学、生命情報科学、生物科学、生命医科学の複数の分野にまたがる専門的知識を基礎から先端分野まで系統的に修得することで、分野融合的、分野横断的な研究に主体的に取り組めるようになる。	学際開拓科目 (11単位以上)	「学際導入科目」 「学際専攻科目」							
自らの専門とする研究の目的や成果を異分野の研究者や大学院生に分かりやすく説明し、分野を越えた科学的議論や意見交換が行えるようになる。	異分野交流科目 (3単位)			「学際開拓科目創成セミナーⅠ」					「学際開拓科目創成セミナーⅡ」
自ら定める専門分野における未解明の問題や未解決の課題を探索、設定し、合理的な研究アプローチを用いて研究課題の解明、解決に取り組み、研究成果を修士論文としてとりまとめることができるようになる。	研究科目 (15単位)	「研究設計演習Ⅰ」			「研究企画提案演習」	「研究設計演習Ⅱ」			
		「特別演習」 「特別研究」							

教育研究内容一覧

専門分野	担当教員名	研究内容
生命情報科学	教授 鈴木 英之進 教授 内田 誠一 教授 興 雄司 教授 備瀬 竜馬 教授 平川 英樹 教授 山本 雅之 准教授 吉田 寛 准教授 金子 美樹 准教授 岡本 剛 准教授 手老 篤史 准教授 佐々 文洋 准教授 上野 (姜) 益俊	情報科学, 統計科学の理論体系を駆使して, ゲノム解析ならびに生命の基本原理解析に関する教育研究を行うことによって, 生命機能の解明とその医療応用を目指す。そのため, 体系化された生命情報データベースを基にして, 知識発見, 学習機能, 推論機能, センシング, モデリング, モデル化・シミュレーションのためのアルゴリズム開発手法とそのプログラミング技術, それらを統合した高速・高効率・高信頼で実行可能な統合計算機システムの構築と運用方法について教育研究する。
生命工学	* 教授 上平 正道 教授 森 健 教授 石田 謙司 教授 工藤 奨 教授 荒田 純平 教授 片倉 喜範 准教授 水本 博 准教授 沼田 倫征 准教授 合志 憲一	動物培養細胞を利用した有用タンパク質等の生産理論の確立, 抗老化・抗生活習慣病を目指した新規創薬・機能性食品の分子設計に関する教育研究を行う。また, 細胞・生体組織の力学的・熱工学的挙動の解明や培養技術の開発, 各種再生臓器に必要な生体親和性・生分解性に富む高分子材料ならびに生体用バイオセラミックス, 複合材料の開発および人工臓器の開発のための教育研究を行う。さらに, 分子レベルでの治療を可能とするナノテクノロジー技術, バイオイメーjing, ナノ診断, 光応用診断などの先端生体計測の開発と複雑系的手法を取り入れた生命システム解明に関する教育研究を行う。

*は2028年3月末日定年退職予定

	教育グループ	教員名	研究キーワード
生命情報科学	生命情報発見学	教授・鈴木 英之進	データマイニング, 機械学習, 発見ロボット https://www.i.kyushu-u.ac.jp/~suzuki/suzuki-j.html
		准教授・吉田 寛	多変数多項式, 多項式生命モデル/Polynomial-life model, 動的恒常性維持, 再生場の理論
	生命情報処理学	准教授・岡本 剛	脳神経科学, 生体医工学, フューチャー・デザイン https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~okamoto/
		准教授・金子 美樹	生体情報計測, 生体センサ, 人間情報科学, 生体情報処理, 健康情報学, 生体医工学 https://www.isee.kyushu-u.ac.jp/laboratory_ist.html
	生命情報数理学	教授・内田 誠一	バイオイメージインフォマティクス, 画像情報学, パターン認識, 機械学習, 実データ解析 https://human.ait.kyushu-u.ac.jp/
		教授・備瀬 竜馬	画像認識, バイオ医療画像解析, 機械学習, 数理最適化 https://human.ait.kyushu-u.ac.jp/~bise/index-en.html
		准教授・手老 篤史	数理モデル, 行動制御, 認識, 単細胞, 研究者学
	生命情報電子工学	教授・興 雄司	バイオ光センシング, レーザー, 光機能材料, 分光分析計測 https://www.laserlab.ed.kyushu-u.ac.jp/
		准教授・佐々 文洋	マイクロロボット, BioMEMS, 動く電子回路, 微小生化学センサ, 細胞操作・培養マイクロデバイス https://biomicro.ed.kyushu-u.ac.jp/
	生命情報解析学	教授・平川 英樹	ゲノム, トランスクリプトーム, 多型, アノテーション, バイオインフォマティクス https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/mogt/study.html
	認知神経科学	教授・ヨハン ローレンス	意思決定, 認知科学, 生命倫理, 視覚的認知, 行動分析 https://dubitopress.blogspot.jp/
	生態毒性モニタリング・政策科学	准教授・上野 (姜) 益俊	バイオセンチネル, 生体音響・行動解析, 生態毒性モニタリング, 水の安全保障, 環境政策提言

	教育グループ	教員名	研究キーワード
	生命プロセス工学	教授・上平 正道	医用生体工学, 組織工学, 遺伝子工学, ウイルス工学, トランスジェニック動物 https://www.chem-eng.kyushu-u.ac.jp/lab3/index.html
		准教授・水本 博	ハイブリッド型人工肝臓, 再生医療, 幹細胞, 細胞組織体, 動物細胞培養 https://www.chem-eng.kyushu-u.ac.jp/lab6/sls/
生	生体医工学	教授・森 健	医療材料、医用化学、薬物送達システム https://sites.google.com/view/mori-lab
命	生命物理工学	教授・石田 謙司	有機/高分子超薄膜、フレキシブルデバイス、触覚・赤外線 センサ、生体発電 https://www.qpn.ap.kyushu-u.ac.jp/
		准教授・合志 憲一	有機薄膜、有機半導体、有機光機能性材料、有機レーザー https://www.qpn.ap.kyushu-u.ac.jp/
工	生体機能工学	教授・工藤 奨	バイオメカニクス, バイオトランスポート, バイオマテリアル, 細胞力学 https://www.bfe.mech.kyushu-u.ac.jp/
学	先端医療デバイス	教授・荒田 純平	機械工学, ロボット工学, メカトロニクス, 医療ロボット, 遠隔操作ロボット https://amd.mech.kyushu-u.ac.jp/
	細胞制御工学	教授・片倉 喜範	アンチエイジング食品, 抗老化, 食品機能, 動物細胞工学 https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/crt/
	構造分子生物学	准教授・沼田 倫征	CRISPR-Cas系, 非コードRNA, トキシン-アンチトキシン系, DNAの複製と修復

大学院システム生命科学府を 第2志望学府として受験する学生へ

出願前の注意

事前に志望分野の担当教員に研究内容等を問い合わせてください。

併願方法

1. 提出書類

提出書類

入学願書(インターネット出願システムにて入力)

TOEIC Listening & Reading Test・TOFEL-iBT の成績証明書の写し

受付期間

令和8年8月19日(水) 10:00 ~ 8月25日(火) 17:00

送付先

インターネット出願システムにて出願 (<https://admissions-office.net/ja/portal>)

2. 試験日時・場所

口述試験を行いますので、下記の日時・場所に集合して下さい。

日時

令和8年9月28日(月) 13:30

受付時間

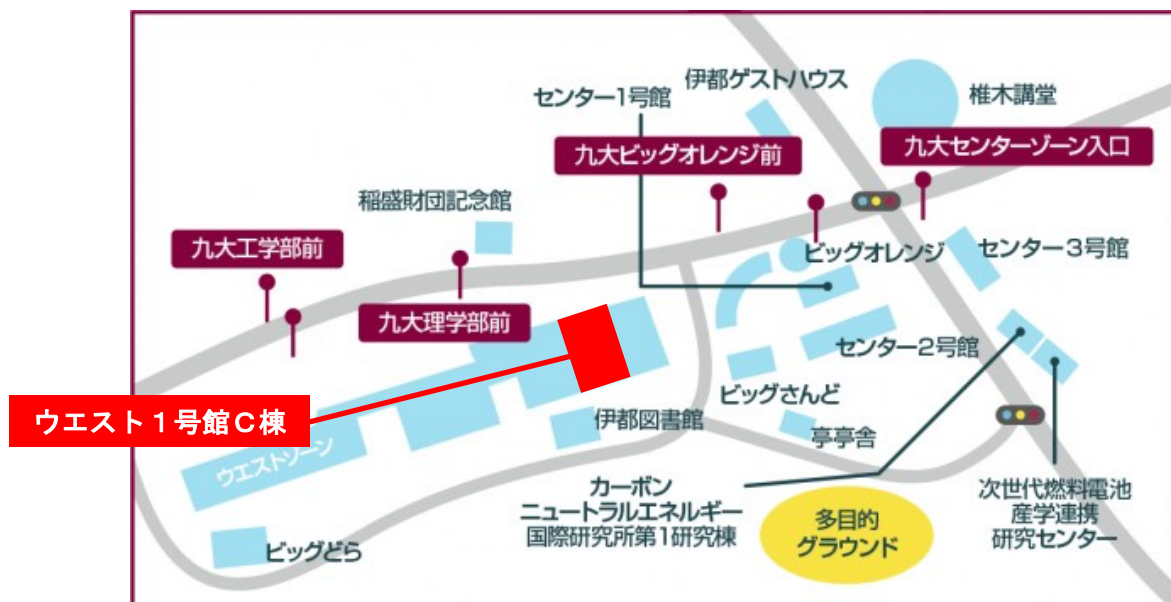
12:45~13:15

集合場所

伊都地区 ウェスト1号館C棟2階 エントランスホール
※試験会場には担当者が順次ご案内します。

持参するもの

TOEIC Listening & Reading Test ・ TOEFL-iBT の成績証明書の原本、受験票



詳細については、大学院システム生命科学府HPをご覧ください
<https://www.sls.kyushu-u.ac.jp/>

問い合わせ

理学部等教務課学生支援係 (伊都地区ウエスト1号館A棟3階305号室)
〒819-0395 福岡市西区元岡744
Tel: 092-802-4014 mail:rixgksien@jimu.kyushu-u.ac.jp